

弘前圏域定住自立圏連携施策の実施状況【平成26年度末】

— 未着手
 — 実施
 ... 拡充実施
 — 計画

政策分野	分野	取り組み	取り組みの内容	平成26年度の取り組み	実施状況 (平成26年度)	今後の予定 (平成27年度)	スケジュール	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	進捗状況
1 生活機能の強化	医療	救急医療体制の維持及び充実	圏域の救急医療体制を確保するため、休日・夜間救急診療体制とともにその充実を図ります。	・休日・夜間急患診療体制の維持 ・休日在宅医診療体制の維持	・休日、夜間急患診療体制を維持しました。（別紙「弘前市急患診療所地域別患者数月別表」参照） ・休日在宅医診療体制を維持しました。（別紙「在宅当番医地域別患者数月別表」参照）	・休日、夜間急患診療体制の維持 ・休日在宅医診療体制の維持	急患診療所の運営						実施
							休日在宅医診療						実施
	福祉	子育て支援の充実	圏域の住民の子育て支援の充実を図るため、弘前市が行う特別保育事業を圏域に拡大し、圏域全体として安心して子育てができる環境を整備します。	・特別保育事業（一時預かり、休日保育など）の実施	・特別保育事業を他市町村の住民が利用できる環境は整っており、補助金を受け当該事業を実施している各保育所等が、他市町村の住民についても個別に相談を受け、対応しています。 ・他市町村の住民の利用状況は、月毎に把握しています。	・特別保育事業の実施 ・PR活動の協議検討	特別保育事業の実施						実施
	教育	学校給食の充実	弘前市が設置する学校給食センターから黒石市の学校給食未実施校に対して学校給食を提供するため、その時期及び内容等について継続的に検討し、検証を行い、学校給食の提供を行います。	・弘前市の学校給食センターにおける提供可能食数の検討・検証 ・黒石市の小学校における給食の実施計画の検討	・学校給食の調理、洗浄等実施状況を見るため、東部学校給食センターを視察しました。 ・引き続き黒石市立小・中学校の適正配置計画（統廃合）の現状と給食実施に向けた打ち合わせを行いました。（1回） ・東部学校給食センターは、開設から15年を経過し、施設設備が老朽化していることから、計画的な機器、施設の更新を行います。機器更新については、黒石市の給食を提供できるような能力をもったものを選定していき、今年度は炊飯設備の洗米機、蓋・釜洗浄機、焼物機、真空冷却機、食器・食缶洗浄機を更新し、天井配管の改修工事を実施しました。	・黒石市の給食開始に伴う費用負担等の検討・検証 ・黒石市立小学校実施計画の見直し及びそれに伴うスケジュールの変更	提供可能食数等検討及び検証						実施
							小学校実施計画	→					実施済
							小学校実施準備						未着手
							小学校給食実施						（順延予定）
	教育	学校教育環境の整備【東目屋・西目屋児童生徒等交流事業】	西目屋村から弘前市への中学校教育事務委託の実現のために、学校教員、保護者、地域住民及び教育委員会職員による東目屋・西目屋児童生徒等交流推進協議会において意見交換し、学校間及び地域間の交流を推進する。	・地域間交流の推進 ・事務委託の協議	・協議会を2回（5/13, 1/20）開催し、交流事業内容について検討しました。 ・交流3年目の最終年度となり、協議会による交流事業以外の場所でも双方で参加するイベントが増えるなど、交流の機会に広がり深まりが見られ、円滑な事務委託のための土台が醸成されました。 ・10月3日に双方の市村長による協議書の調印式が行われ、西目屋村と弘前市との間の中学校教育事務委託が平成27年度より開始することとなりました。	・事業完了	地域間交流の推進						実施済
							事務委託の協議						実施済

政策分野	分野	取り組み	取り組みの内容	平成26年度の取り組み	実施状況 (平成26年度)	今後の予定 (平成27年度)	スケジュール	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	進捗状況
1 生活機能の強化	教育	大石武学流庭園の調査、普及及び活用	園域内の指定名勝及び登録記念物の庭園を核として、大石武学流庭園の掘り起こしを行い、津軽独自の庭園文化の普及及び活用を図ります。			・大石武学流庭園測量・図化 ・大石武学流庭園シンポジウム開催	調査						→
							情報発信						→
	教育	重要伝統的建造物群保存地区（以下「重伝建地区」という。）における修理修景等事業及び活用事業の推進	園域内で甲乙に所在する両重伝建地区に対する愛情・誇り・一体感を醸成し、園域外からの観光客の流入と周遊を図るため、修理修景等事業の推進及び園域内外への情報発信等の広報活動に取り組みます。			・修理修景事業の実施	修理修景						→
							情報発信						→
	産業振興	農作物猿害防止体制の構築【農作物猿害防止体制事業】	農作物猿害の軽減に向けて、弘前市、西目屋村地域における猿の生態を調査し、検証するとともに、総合的な調整を図りながら、連携による農作物猿害防止体制の構築に取り組みます。	・巡視員の連携 ・探索器による監視体制の検証	・弘前市では、7月から12月まで延べ巡視員4名を雇用し、出没状況の聞き取り調査を実施しながら、捕獲用おりを効果的に設置し、西目屋村との巡視員の情報交換を実施しました。 ・GPS・タブレット端末の巡視活用を実施しました。	・西目屋村の巡視員との連携。 ・探索器による監視体制の検証のため、GPS等を活用したシステムの構築に向けて、引き続きの協議。	猿の生態調査						→ 実施
							巡視員の連携						→ 実施
							探索器による監視体制の検証						→ 実施
	産業振興	食産業の育成	園域の豊富な農産資源等を活用した付加価値の高い商品づくりや販路開拓に取り組む事業者を支援するための体制を整備します。	・食産業に精通した専門家の配置 ・事業者や生産者へのアドバイス、コーディネートの実施	・外部専門家を委嘱し、事業者、生産者に対するアドバイス、コーディネート活動を実施しています。本年度は、37事業所のべ61件の相談に対応し、技術相談やビジネスマッチングに成果を挙げています。またセミナーを2回開催し、人材の育成に努めました。 ・2月10日～12日に開催された「こだわり食品フェア2015」へ出展し、5事業者が参加いたしました。	・青森県よろず支援拠点「よろず出張相談会」と連携を図るとともに、展示商談会への出展を強化する。	専門家の配置						→ 実施
							見本市への出展						→ 実施
	産業振興	企業誘致活動の推進【企業誘致園域連携事業】	地域の雇用確保及び経済の活性化を図るため、園域市町村と立地に係る情報を共有し、園域全体としての立地環境、魅力や強みを企業へ情報発信するなど、園域一体となった企業誘致活動を展開します。	・ガイドブックの作成 ・情報発信	・東京都で5月21日～23日に開催された「企業立地フェア2014」へ出展し、弘前園域の立地環境や優遇制度等をPRしました。	・首都圏で実施されるイベントへ参加するなど効果的なPRをします。ガイドブックの内容の見直しを検討します。	ガイドブックの作成						→ 実施
							情報発信						→ 実施

政策分野	分野	取り組み	取り組みの内容	平成26年度の取り組み	実施状況 (平成26年度)	今後の予定 (平成27年度)	スケジュール	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	進捗状況
1 生活機能の強化	観光振興	広域観光商品の充実	圏域への誘客につながる広域観光商品の充実を図るため、圏域に求められる観光ニーズを調査・検証するとともに、観光商品を開発する首都圏の旅行代理店等へ効果的な情報発信を行います。	・圏域に求められる広域観光商品についてニーズ調査・検証 ・首都圏等での観光PR	【調査検証】 FDAとコラボでモニターツアーを企画し、2月8日～10日の行程で実施いたしました。 【情報発信】 名古屋でのキャンペーンを行い、5市町村と共同で各種観光PR、物産販売及びAGTへの商談会を行いました。	・旅行AGT等と連携した旅行商品の造成やPRを行う。 ・特別事業としてタレントを活用したPR番組を作成し放映する。	調査検証						実施済
							情報発信						実施
	地域防災	広域備蓄体制の整備	大規模・広域的な災害の発生時に被災民に対して的確に対応するため、青森県と連携しながら、燃料、毛布、飲料水等の物資を備蓄する体制を整備します。	・備蓄計画の策定 ・物資整備・運用開始	・昨年度と同様に、県に対して備蓄拠点の整備や物資購入について要望書を提出したところ、県の回答は「県内市町村における現物備蓄の確保に向けた取組状況等を把握し、地震・津波被害想定調査（平成24年～25年度）に基づく被害規模や避難者数等も踏まえ、検討を進めていく。」と言う、同様の回答でした。 ・弘前市における備蓄計画を策定しました。	・物資整備・運用開始	課題等の整理						実施済
							備蓄計画の策定						実施中
							物資整備・運用開始						未着手
	地域防災	合同防災訓練等の実施	大規模・広域的な災害の発生時に、自治体及び関係機関が連携した対応ができるようにするため、組織間連携の確認と向上を目指した合同防災訓練を実施します。	・合同訓練実施 ・合同研修会実施	・合同防災訓練は、8月21日に実施した弘前市総合防災訓練に圏域市町村も参加しました。 ・合同研修会は、県防災士会を講師として、防災講話を実施。また、大学教授を講師に、「地域防災の考え方、進め方」についての講演会実施	・合同訓練実施 ・合同研修会実施	実施要領検討						実施済
							県防災訓練への参加						実施済
							合同訓練実施						実施
							合同研修会実施						実施
	環境	し尿処理の広域化	汚水処理等を効率的に行うため、圏域のし尿等を一括して処理する施設を設置します。	・建設工事等	・4月11日 第1回担当課長会議を開催し、し尿等希釈投入施設建設工事の進捗状況とスケジュール確認を行いました。 ・7月9日 平成26年度社会資本整備総合交付金事業の施行に係る措置に関する協定の締結を行いました。 ・7月30日 第2回担当課長会議を開催し、し尿等希釈投入施設建設工事の工期変更について説明しました。 ・11月27日 第3回担当課長会議を開催し、平成27年度の各市町村の負担金の予算措置依頼をしました。	・し尿等希釈投入施設の竣工。 ・H28年度以降の運転管理にかかる協議。	実施設計等						実施済
							建設工事等						H27.9 完成予定

政策分野	分野	取り組み	取り組みの内容	平成26年度の 取り組み	実施状況 (平成26年度)	今後の予定 (平成27年度)	スケジュール	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	進捗状況	
1 生活機能の強化	環境	カラス対策の連携【カラス対策連携事業】	カラスによる被害を軽減するため、連携して被害状況を調査し、検証するとともに、検証結果に基づき、広域のかつ効果的なカラス対策を検証し、実施します。	・情報共有 ・合同調査、検証 ・エサ断ち対策 ・その他対策	・5月26日開催の第9回弘前市カラス対策連絡協議会に黒石市の担当者が出席し、情報を共有しました。 ・ごみ集積所において、ネット及び集積ボックス設置の推進を図りました。 ・11月21日開催の第10回弘前市カラス対策連絡協議会に黒石市の担当者が出席し、平成27年度の連携事業の進め方について協議しました。 ・平成26年度の個体数調査を、黒石市と同日程により、年3回実施しました。 1回目：平成26年10月25日 2回目：平成27年1月24日 3回目：平成27年2月21日（但し、3回目について黒石市は2月28日に実施） ・これまでの情報等を分析し、「その他対策」を協議・検討していきます。	・情報共有 ・合同調査、検証 ・エサ断ち対策 ・その他対策の検討	情報共有						実施	
							合同調査・検証						実施	
							エサ断ち対策						実施	
							その他対策						実施	
	環境	使用済小型家電リサイクルの促進	圏域における使用済小型家電の再資源化を住民に啓発するとともに、使用済小型家電を効率的にリサイクルする体制を整備します。			・連携市町村の現状把握、情報共有 ・より効率的な回収方法及び啓発方法の検討	ピックアップ回収 啓発方法等検討 啓発等実施							
その他	消費生活相談体制の広域的対応	圏域における消費生活相談を広域的に行うことにより、住民サービスの向上を図ります。			・消費生活に関する諸問題を解決できるよう相談員の専門的な基礎知識、相談処理技法の習得を目的とした研修を実施する。 ・圏域市町村との情報交換のため、圏域消費生活相談連絡会議を実施する。	相談業務 市町村への周知								
2 結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	圏域公共交通ネットワークの再構築及び利用促進	地域公共交通の確保と利便性向上に向けて、圏域における地域公共交通の実情を調査・検証するとともに、総合的な調整を図りながら、交通事業者と連携して、圏域の公共交通ネットワークの再構築と利用促進に取り組みます。	・弘前圏域公共交通計画の策定（継続）	・弘前圏域内の公共交通担当者及び交通事業者と連携し、弘前圏域内のバス路線のうち、浪岡線を要望の多かったイオン藤崎店を経由する系統に一本化しよう、また、津軽ダムの関係で終点付近の民家がなくなる川原平線について、路線の再編を検討しました。 ・検討の結果、浪岡線及び川原平線は、平成26年10月1日から浪岡線はイオン藤崎店経由に一本化し、川原平線は路線を短縮し、居森平線として運行することとしました。	・弘前圏域地域公共交通計画をもとに、県が策定を予定している地域公共交通網形成計画において、持続可能な交通体系を構築する。	公共交通計画の策定						実施済	
				・公共交通利用PRパンフレットの配布	・弘前圏域内公共交通担当者を開催し、今年度の利用促進PR活動のスケジュール等の確認や、国・県から公共交通に関する様々な情報提供があり、担当者間での情報共有を図りました。 ・公共交通の現状と必要性を記載したパンフレットを作製・配布し、周知を行いました。	・各市町村のHP等を活用した公共交通の周知活動やモビリティ・マネジメントを実施予定。		利用啓発活動の実施						実施

政策分野	分野	取り組み	取り組みの内容	平成26年度の取り組み	実施状況 (平成26年度)	今後の予定 (平成27年度)	スケジュール	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	進捗状況
3 圏域マ ネジメ ント能 力の強 化	圏域市町村の職員の交流	圏域市町村職員の育成	圏域市町村職員の能力の向上及び連携強化を図るため、合同研修を実施します。	・圏域市町村職員合同研修の実施 ・圏域職員政策提言事業の実施	・7月7日、8日に圏域職員政策提言事業（オリエンテーション及び地域力向上研修）を実施しました。 ・8月～1月にかけて、定例研究会を実施しました。 ・2月10日圏域職員政策提言事業報告会を実施しました。 ・12月19日にメンタルヘルス研修を実施しました。	・圏域市町村職員合同研修の実施 ・圏域職員政策提言事業の実施	合同研修の実施						実施
							圏域職員政策提言事業					実施	
	行政事務の効率化	電算システムの共同利用	電算システムの共同利用により、コストの削減、利便性、効率化、セキュリティの向上、災害時の業務継続における対応力の強化を図ります。			・共同クラウドシステム利用開始（4月1日） ・定例会の実施（情報共有） ・帳票統一等の検討	共同利用の実施						
							共同利用の協議						

弘前市急患診療所市町村等別受診者数一覧 (平成24年度～平成26年度)

区 分			弘前市	黒石市	平川市	板柳町	大鰐町	藤崎町	田舎館村	西目屋村	県内他 市町村	県 外	合 計
平成二十四年度	内科	夜間	1,847	57	179	39	42	65	46	10	62	44	2,391
		休日	1,216	53	139	24	33	62	25	8	72	74	1,706
		小計	3,063	110	318	63	75	127	71	18	134	118	4,097
	小児科	夜間	2,243	243	349	116	83	134	109	7	131	92	3,507
		休日	1,771	211	310	117	72	129	76	12	168	108	2,974
		小計	4,014	454	659	233	155	263	185	19	299	200	6,481
	合 計	夜間	4,090	300	528	155	125	199	155	17	193	136	5,898
		休日	2,987	264	449	141	105	191	101	20	240	182	4,680
		合計	7,077	564	977	296	230	390	256	37	433	318	10,578
		比率	66.9%	5.3%	9.2%	2.8%	2.2%	3.7%	2.4%	0.3%	4.1%	3.0%	100.0%
平成二十五年度	内科	夜間	1,892	69	183	40	35	80	49	12	54	46	2,460
		休日	1,173	50	133	25	28	58	23	7	57	79	1,633
		小計	3,065	119	316	65	63	138	72	19	111	125	4,093
	小児科	夜間	2,405	271	388	123	76	168	125	17	141	96	3,810
		休日	1,954	258	303	102	65	181	80	9	178	121	3,251
		小計	4,359	529	691	225	141	349	205	26	319	217	7,061
	合 計	夜間	4,297	340	571	163	111	248	174	29	195	142	6,270
		休日	3,127	308	436	127	93	239	103	16	235	200	4,884
		合計	7,424	648	1,007	290	204	487	277	45	430	342	11,154
		比率	66.6%	5.8%	9.0%	2.6%	1.8%	4.4%	2.5%	0.4%	3.9%	3.1%	100.0%
平成二十六年年度	内科	夜間	1,967	78	232	43	47	93	39	10	65	58	2,632
		休日	1,373	68	175	24	42	66	30	13	78	84	1,953
		小計	3,340	146	407	67	89	159	69	23	143	142	4,585
	小児科	夜間	2,361	245	388	106	75	175	87	21	146	96	3,700
		休日	1,746	256	333	91	77	155	75	11	182	118	3,044
		小計	4,107	501	721	197	152	330	162	32	328	214	6,744
	合 計	夜間	4,328	323	620	149	122	268	126	31	211	154	6,332
		休日	3,119	324	508	115	119	221	105	24	260	202	4,997
		合計	7,447	647	1,128	264	241	489	231	55	471	356	11,329
		比率	65.7%	5.7%	10.0%	2.3%	2.1%	4.3%	2.0%	0.5%	4.2%	3.1%	100.0%

休日在宅当番医市町村等別受診者数一覧 (平成24年度～平成26年度)

区 分		弘前市	黒石市	平川市	板柳町	大鰐町	藤崎町	田舎館村	西目屋村	県内他 市町村	県 外	合 計
平成二十四年度	内科	428	4	13	3	2	8	8	2	19	7	494
	外科	460	11	22	3	7	4	5	5	33	8	558
	耳鼻咽喉科等	435	20	45	10	10	19	5	8	30	23	605
	歯科	272	22	22	5	12	15	0	2	20	18	388
	小計	1,595	57	102	21	31	46	18	17	102	56	2,045
平成二十五年度	内科	470	3	16	1	5	5	1	2	7	6	516
	外科	655	7	16	5	6	6	20	11	28	14	768
	耳鼻咽喉科等	454	14	54	10	12	13	3	5	35	23	623
	歯科	301	18	23	6	4	11	6	3	26	30	428
	小計	1,880	42	109	22	27	35	30	21	96	73	2,335
平成二十六年年度	内科	536	7	20	1	7	6	1	2	9	11	600
	外科	817	7	19	6	7	11	32	14	55	13	981
	耳鼻咽喉科等	489	24	47	9	10	23	16	2	37	27	684
	歯科	286	9	13	9	4	14	8	1	24	20	388
	小計	2,128	47	99	25	28	54	57	19	125	71	2,653